

電子成果品に関する間違いについて

1. 管理表及びCDラベル、CD内の管理ファイルに記載ミスについて

No	項目	エラー内容	正しい処置など	電子納品の手引き 該当部分
1	工事番号、設計書コード	1) 成果品管理表と異なる工事番号 例) 管理表:2009310502 CDラベル、INDEX:311502	工事番号は10桁CORINSにおける工事契約コード 業務番号は10桁TECRISにおける設計書コード を記載して下さい。 例)の場合は管理表の番号が正しく、CDラベル、INDEXの記載が間違っている。	工事 P46 業務 P33
		2) 成果品管理表の設計書コードに誤り 例) 管理表:212120192928 CDラベル、INDEX:2009212928	CD内の工事番号と管理表の工事番号は同じ番号を記載して下さい。	
		3) 下4桁のみラベルとINDEXに記入 例) 工事番号 2928	工事番号は10桁CORINSにおける工事契約コード 業務番号は10桁TECRISにおける設計書コードを記載して下さい。	工事 P46 業務 P33
		4) 他の工事(業務)と重複 例) ①管理表上での番号重複 ②登録後にDB上で重複(名称は異なる) ③既登録分と番号、名称が重複	工事番号、業務番号をよく確認して入力して下さい。	
		5) CDラベルにTECRIS登録番号のみ記述	工事番号は10桁CORINSにおける工事契約コード 業務番号は10桁TECRISにおける設計書コード	工事 P46 業務 P33
2	発注年度の誤り	例)工事番号が2009xxxxxxで工期開始日が2010-03-01の場合に発注年度が「2010」になっている	発注年度を記載する。 工期開始日が01-01～03-31の場合注意する。例)の場合は2009が正	
3	発注者機関コード	業務なのに工事の発注者機関コードを記入している。 例)○業務 誤) 02202999 正) 12003999	業務の発注機関コードはTECRISシステムの出力の発注機関コードではなく、右よりダウンロードしたコードを入力して下さい。発注機関コードは発注元のコードを入力して下さい。 例)事務所の本官契約→事務所のコードを入力	http://www.cals-ed.go.jp/tecris/
			工事の発注者機関コードは右よりダウンロード可能です。 旧組織のコード変換はH21.4版が最新とされており、北海道開発局の組織改編が全て反映されていない状態です。(H27.7)よって、原則は「現存する事務所名に合わせてコードを選択」して下さい。(例)札幌河川事務所の場合は石狩川開建札幌河川事務所 これに当てはまらない場合は「その他」を選択して下さい	http://www.cals-ed.go.jp/corins/

電子成果品に関する間違いについて

1. 管理表及びCDラベル、CD内の管理ファイルに記載ミスについて

No	項目	エラー内容	正しい処置など	電子納品の手引き 該当部分
4	<発注者-小分類>	大分類、中分類は記述されているが小分類が無い。 例) <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>北海道開発局</発注者-中分類> <発注者コード>02206102</発注者コード>	<発注者-小分類>を必ず記載して下さい。 例) <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>北海道開発局</発注者-中分類> <発注者-小分類> ○○開発建設部</発注者-小分類> <発注者コード>02206102</発注者コード>	
5	CDが複数枚ある場合にINDEX_C.XMLとINDE_C05.DTDのファイルが間違っている。	基本情報に「メディア番号／総枚数」を記載し、それ以外は同一情報を記載する。 例) CDが2枚あるのに以下のように記載されている。 <メディア番号>1</メディア番号> <メディア総枚数>1</メディア総枚数>	INDEX_C.XMLの基本情報に必要な事項を記載。DTDファイルは同一のもの。 例) 2枚の場合 1枚目のCDのINDEX_C.XML <メディア番号>1</メディア番号> <メディア総枚数>2</メディア総枚数> 2枚目のCDのINDEX_C.XML <メディア総枚数>2</メディア総枚数> <メディア番号>2</メディア番号>	
6	CD/DVDの読み取りエラー (CRCエラー)	・汚れ(指紋等)やキズ ラベルの”受注者署名欄”にボールペンで署名したものが記録面にキズとして残っているケースが複数ある。	ボールペンではなく、油性ペンを使用して下さい。データ書き込み部は直接触れないようにし、傷や汚れをつけないようにして下さい。	工事 P85 業務 P64
7	データ未記入	CD/DVDにデータが未記録。 電子納品のデータ構成になっていない。(INDEX等等)	手引き通りに管理ファイル、フォルダ、必要ファイルを保存する。	

電子成果品に関する間違いについて

2. 電子納品チェックシステムでのよくあるエラー

No	項目	エラー内容	対処
1	[ファイル構成エラー]	【エラー】INDEX_D.XMLのDTDが存在しないか正しくありません。	電子納品要領に従い、INDE_D0x.DTDを補完・登録が必要
2	[XML構成エラー]	【エラー】DTD またはスキーマによると、要素のコンテンツが無効です。行: 253 <予備></予備>	該当行を削除して登録
3	[XML要素内容エラー]	例1) <業務キーワード><業務概要> ..など 【エラー】内容が記述されていません。	必要事項を記載して下さい
		例2) <製品仕様書名> 【エラー】内容が記述されていません。	製品仕様書の無い(不要)ものはダミーを設定して登録
		例3) <基準点情報平面直角座標X座標> 【エラー】内容が記述されていません。	必要事項を記載して下さい
		例4) <報告書ファイル名> 【エラー】REPORT.XMLに記入されているファイルがREPORTフォルダに存在しません	必要事項を記載して下さい
4	[PDFエラー]	【エラー】シオリが設定されていません。	必要事項を記載して下さい
5	[CADエラー]	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。	必要事項を記載して下さい